

令和5年度

諫早市下水道事業会計
決算審査意見書

諫早市監査委員

6 諫 監 第 3 1 号
令和6年8月28日

諫早市長 大久保 潔重 様

諫早市監査委員	谷 口	啓
諫早市監査委員	森 口	恭 子
諫早市監査委員	森	和 明

令和5年度諫早市下水道事業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された令和5年度諫早市下水道事業会計決算の審査を行ったので、その結果について次のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	1
1	事業の概要について	1
2	予算の執行状況について	2
	(1) 収益的収入及び支出	
	(2) 資本的収入及び支出	
	(3) その他の予算事項	
3	経営成績について	7
	(1) 営業収益及び営業費用	
	(2) 営業外収益及び営業外費用	
	(3) 特別利益及び特別損失	
	(4) 原価計算	
	(5) 剰余金計算	
	(6) 各下水道事業別の経営成績	
4	財政状態について	13
	(1) 資産の部	
	(2) 負債の部	
	(3) 資本の部	
5	資金収支の状況について	17
6	セグメント情報	18
7	むすび	19

おことわり事項

- 1 本書中の各比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。
- 2 下記表現の説明は、次のとおりである。
「0」・「0.0」 該当数値はあるが単位未満のもの
「－」 該当数値がないもの
「皆増」 前年度に数値がなく全額増加したもの
「皆減」 当年度に数値がなく全額減少したもの
- 3 本書中に用いているポイントとは、パーセンテージ間の単純差引き数値である。

令和5年度諫早市下水道事業会計決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和5年度諫早市下水道事業会計決算

2 審査の期間

令和6年7月1日から令和6年8月28日

3 審査の方法

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書について、地方公営企業法等関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、総勘定元帳その他の会計帳票及び関係証書類と照合するとともに、必要に応じ資料の提出を求め、また、関係職員から事情を聴取するなどにより審査した。

審査に当たっては、当事業が経済性を発揮し、公共の福祉を増進するために運営されたかを検討するため、事業の経営分析を行った。

第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書は、関係法令に準拠して作成されており、当年度の経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示していると認められた。

審査の結果の詳細は、次のとおりである。

1 事業の概要について

(1) 下水処理状況

当年度末における接続人口は 91,831 人で、前年度に比べ 1,105 人 (1.2%) 増加しており、接続戸数は 45,887 戸で、前年度に比べ 1,159 戸 (2.6%) 増加している。普及率は 79.3% で、前年度に比べ 0.7 ポイント上昇している。年間総処理水量は 15,880,215 m³ で、前年度に比べ 1,216,076 m³ (8.3%) 増加し、年間有収水量は 15,118,052 m³ で、前年度に比べ 983,867 m³ (7.0%) 増加している。有収率は 95.2% で、前年度に比べ 1.2 ポイント減少している。

(2) 建設改良事業

当年度における建設改良事業の状況は、拡張工事では、公共下水道事業で大村湾処理区 9 件、678,069,300 円、諫早湾処理区 14 件、568,105,700 円、特定環境保全公共下水道事業で飯盛処理区 10 件、184,665,600 円、高来処理区 8 件、165,740,300 円である。

改良工事では、公共下水道事業で 3 件、17,692,400 円、特定環境保全公共下水道事業で 3 件、24,661,200 円、農業集落排水事業で 13 件、119,094,300 円である。

主な拡張工事は、津久葉第 7 号汚水幹線布設工事 (R 5 - 2 工区) 210,837,000 円、津久葉第 7 号汚水幹線布設工事 (R 4 - 2 工区) 187,020,000 円、津久葉第 7 号汚水幹

線布設工事（R4-1工区）184,797,200円である。主な改良工事は、田尻・杉谷外2地区マンホールポンプ場遠隔監視装置更新工事 30,555,800円である。主な保存工事は、法川マンホールポンプ場外水中ポンプ分解整備工事 15,331,800円である。

なお、建設資材の供給不足等により、次年度へ繰越された事業は51件、繰越金額は2,027,122,255円である。

2 予算の執行状況について

当年度の予算の執行状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出

(収益的収入)

(単位:円)

区 分	令和5年度					令和4年度	対前年度	
	予算額 (A)	決算額 (B)	構成 比(%)	増減額 (B)-(A)	収入率 (%) (B)/(A)	決算額 (C)	増減額 (D) (B)-(C)	比率 (%) (D)/(C)
営業収益	2,801,598,000	2,923,954,950	53.8	122,356,950	104.4	2,780,916,870	143,038,080	5.1
公共下水道事業収益	2,286,200,000	2,444,631,800	45.0	158,431,800	106.9	2,279,951,640	164,680,160	7.2
特定環境保全公共下水道事業収益	183,123,000	185,967,650	3.4	2,844,650	101.6	183,751,770	2,215,880	1.2
農業集落排水事業収益	227,575,000	223,824,480	4.1	△3,750,520	98.4	223,471,090	353,390	0.2
漁業集落排水事業収益	23,749,000	24,111,440	0.4	362,440	101.5	23,530,590	580,850	2.5
公共下水道事業他会計補助金	64,867,000	36,857,000	0.7	△28,010,000	56.8	56,210,000	△19,353,000	△34.4
特定環境保全公共下水道事業他会計補助金	6,597,000	3,497,000	0.1	△3,100,000	53.0	5,789,000	△2,292,000	△39.6
農業集落排水事業他会計補助金	8,836,000	4,781,000	0.1	△4,055,000	54.1	7,725,000	△2,944,000	△38.1
漁業集落排水事業他会計補助金	483,000	124,000	0.0	△359,000	25.7	398,000	△274,000	△68.8
公共下水道事業その他営業収益	162,000	127,140	0.0	△34,860	78.5	61,300	65,840	107.4
特定環境保全公共下水道事業その他営業収益	2,000	2,080	0.0	80	104.0	960	1,120	116.7
農業集落排水事業その他営業収益	2,000	28,400	0.0	26,400	1420.0	24,480	3,920	16.0
漁業集落排水事業その他営業収益	2,000	2,960	0.0	960	148.0	3,040	△80	△2.6
営業外収益	2,519,052,000	2,510,074,024	46.2	△8,977,976	99.6	2,529,535,508	△19,461,484	△0.8
公共下水道事業受取利息及び配当金	309,000	212,958	0.0	△96,042	68.9	212,749	209	0.1
公共下水道事業他会計補助金	633,248,000	618,045,000	11.4	△15,203,000	97.6	635,491,000	△17,446,000	△2.7
特定環境保全公共下水道事業他会計補助金	266,833,000	263,834,000	4.9	△2,999,000	98.9	254,102,000	9,732,000	3.8
農業集落排水事業他会計補助金	380,708,000	374,983,000	6.9	△5,725,000	98.5	394,011,000	△19,028,000	△4.8
漁業集落排水事業他会計補助金	17,855,000	17,831,000	0.3	△24,000	99.9	16,668,000	1,163,000	7.0
公共下水道事業長期前受金戻入	670,182,000	663,396,712	12.2	△6,785,288	99.0	650,456,988	12,939,724	2.0
特定環境保全公共下水道事業長期前受金戻入	252,061,000	251,285,496	4.6	△775,504	99.7	253,244,479	△1,958,983	△0.8
農業集落排水事業長期前受金戻入	266,873,000	267,004,461	4.9	131,461	100.0	295,126,550	△28,122,089	△9.5
漁業集落排水事業長期前受金戻入	22,111,000	21,895,838	0.4	△215,162	99.0	21,892,959	2,879	0.0
雑収益	8,872,000	31,585,559	0.6	22,713,559	356.0	8,329,783	23,255,776	279.2
特別利益	8,000	335,990	0.0	327,990	4199.9	91,780	244,210	266.1
固定資産売却益	4,000	-	-	△4,000	-	-	-	-
過年度損益修正益	4,000	335,990	0.0	331,990	8399.8	91,780	244,210	266.1
その他特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	5,320,658,000	5,434,364,964	100.0	113,706,964	102.1	5,310,544,158	123,820,806	2.3

(税込み)

(収益的支出)

(単位:円)

区 分	令和5年度					令和4年度	対前年度	
	予算額 (A)	決算額 (B)	構成 比(%)	不用額 (A)-(B)	執行率 (%) (B)/(A)	決算額 (C)	増減額 (D) (B)-(C)	比率 (%) (D)/(C)
営業費用	4,308,478,000	4,016,511,110	90.4	291,966,890	93.2	3,990,163,031	26,348,079	0.7
公共下水道事業管渠費	59,065,000	36,551,320	0.8	22,513,680	61.9	35,061,965	1,489,355	4.2
特定環境保全公共下水道事業管渠費	50,752,805	33,578,561	0.8	17,174,244	66.2	24,985,645	8,592,916	34.4
農業集落排水事業管渠費	96,270,000	64,191,314	1.5	32,078,686	66.7	73,583,047	△9,391,733	△12.8
漁業集落排水事業管渠費	2,821,000	1,100,647	0.0	1,720,353	39.0	910,870	189,777	20.8
公共下水道事業ポンプ場費	48,890,610	32,979,456	0.8	15,911,154	67.5	31,798,036	1,181,420	3.7
公共下水道事業処理場費	1,098,016,401	1,056,499,105	23.7	41,517,296	96.2	1,002,545,868	53,953,237	5.4
特定環境保全公共下水道事業処理場費	152,492,195	127,990,961	2.9	24,501,234	83.9	133,768,428	△5,777,467	△4.3
農業集落排水事業処理場費	182,166,989	158,853,388	3.6	23,313,601	87.2	139,907,461	18,945,927	13.5
漁業集落排水事業処理場費	16,042,000	11,100,959	0.3	4,941,041	69.2	12,117,582	△1,016,623	△8.4
公共下水道事業総係費	122,688,268	102,233,932	2.3	20,454,336	83.3	109,629,914	△7,395,982	△6.7
特定環境保全公共下水道事業総係費	18,944,660	14,592,103	0.3	4,352,557	77.0	14,568,143	23,960	0.2
農業集落排水事業総係費	26,923,072	21,292,611	0.5	5,630,461	79.1	23,761,836	△2,469,225	△10.4
漁業集落排水事業総係費	2,588,000	1,898,190	0.0	689,810	73.3	1,648,840	249,350	15.1
公共下水道事業減価償却費	1,375,040,000	1,337,655,884	30.1	37,384,116	97.3	1,322,260,208	15,395,676	1.2
特定環境保全公共下水道事業減価償却費	479,014,000	472,574,368	10.6	6,439,632	98.7	473,572,215	△997,847	△0.2
農業集落排水事業減価償却費	491,721,000	490,685,616	11.0	1,035,384	99.8	508,991,764	△18,306,148	△3.6
漁業集落排水事業減価償却費	40,844,000	40,818,877	0.9	25,123	99.9	40,798,361	20,516	0.1
公共下水道事業資産減耗費	1,368,000	10,956,372	0.3	△9,588,372	800.9	2,024,641	8,931,731	441.2
特定環境保全公共下水道事業資産減耗費	4,520,000	117,183	0.0	4,402,817	2.6	8,274	108,909	1316.3
農業集落排水事業資産減耗費	38,259,000	798,228	0.0	37,460,772	2.1	38,219,092	△37,420,864	△97.9
漁業集落排水事業資産減耗費	47,000	42,035	0.0	4,965	89.4	841	41,194	4898.2
その他営業費用	4,000	-	-	4,000	-	-	-	-
営業外費用	513,025,000	433,030,425	9.6	79,994,575	84.4	479,809,709	△46,779,284	△9.7
公共下水道事業支払利息及び企業債取扱諸費	255,236,000	231,327,433	5.2	23,908,567	90.6	248,060,115	△16,732,682	△6.7
特定環境保全公共下水道事業支払利息及び企業債取扱諸費	97,758,000	90,734,240	2.0	7,023,760	92.8	92,959,890	△2,225,650	△2.4
農業集落排水事業支払利息及び企業債取扱諸費	106,377,000	103,930,690	2.3	2,446,310	97.7	115,862,501	△11,931,811	△10.3
漁業集落排水事業支払利息及び企業債取扱諸費	5,645,000	5,643,412	0.1	1,588	100.0	5,811,093	△167,681	△2.9
消費税及び地方消費税	46,294,000	-	-	46,294,000	-	15,781,900	△15,781,900	皆減
雑支出	1,715,000	1,394,650	0.0	320,350	81.3	1,334,210	60,440	4.5
特別損失	604,000	1,412,850	0.0	△808,850	233.9	118,250	1,294,600	1094.8
固定資産売却損	4,000	-	-	4,000	-	-	-	-
過年度損益修正損	600,000	1,412,850	0.0	△812,850	235.5	118,250	1,294,600	1094.8
予備費	10,000,000	-	-	10,000,000	-	-	-	-
合 計	4,832,107,000	4,450,954,385	100.0	381,152,615	92.1	4,470,090,990	△19,136,605	△0.4

(税込み)

収入合計は 5,434,364,964 円で、予算額 5,320,658,000 円に対し、113,706,964 円多く、収入率は 102.1%である。

主な理由は、公共下水道事業収益が予算額を上回ったことによるものである。

支出合計は 4,450,954,385 円で、予算額 4,832,107,000 円に対して 381,152,615 円の不用額を生じており、執行率は 92.1%である。

不用額の主なものは、消費税及び地方消費税 46,294,000 円、公共下水道事業処理場費 41,517,296 円である。

(2) 資本的収入及び支出

(資本的収入)

(単位:円)

区 分	令和5年度						増減額 (B)-(A)	収入 率(%) (B)/(A)	令和4年度 決算額 (C)	対前年度	
	予算額			決算額		増減額 (D)				比率 (%) (D)/(C)	
	当年度	繰越額	計 (A)	(B)	構成 比(%)						
企業債	2,592,700,000	767,300,000	3,360,000,000	1,447,700,000	50.3	△1,912,300,000	43.1	1,109,000,000	338,700,000	30.5	
公共下水道事業企業債	1,896,700,000	719,600,000	2,616,300,000	1,209,900,000	42.1	△1,406,400,000	46.2	900,800,000	309,100,000	34.3	
特定環境保全公共下水道事業企業債	564,800,000	47,700,000	612,500,000	234,200,000	8.1	△378,300,000	38.2	203,100,000	31,100,000	15.3	
農業集落排水事業企業債	131,200,000	-	131,200,000	3,600,000	0.1	△127,600,000	2.7	5,100,000	△1,500,000	△29.4	
漁業集落排水事業企業債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
出資金	254,165,000	-	254,165,000	234,528,000	8.1	△19,637,000	92.3	268,892,000	△34,364,000	△12.8	
公共下水道事業出資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
特定環境保全公共下水道事業出資金	112,467,000	-	112,467,000	107,095,000	3.7	△5,372,000	95.2	83,239,000	23,856,000	28.7	
農業集落排水事業出資金	138,398,000	-	138,398,000	127,239,000	4.4	△11,159,000	91.9	185,653,000	△58,414,000	△31.5	
漁業集落排水事業出資金	3,300,000	-	3,300,000	194,000	0.0	△3,106,000	5.9	-	194,000	皆増	
補助金	1,723,733,000	395,522,590	2,119,255,590	1,084,010,200	37.8	△1,035,245,390	51.2	1,059,320,950	24,689,250	2.3	
公共下水道事業補助金	1,381,359,000	346,385,640	1,727,744,640	862,215,500	30.0	△865,529,140	49.9	804,132,819	58,082,681	7.2	
特定環境保全公共下水道事業補助金	257,695,000	49,136,950	306,831,950	137,116,700	4.8	△169,715,250	44.7	171,680,131	△34,563,431	△20.1	
農業集落排水事業補助金	84,679,000	-	84,679,000	84,678,000	3.0	△1,000	100.0	83,508,000	1,170,000	1.4	
漁業集落排水事業補助金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
負担金及び分担金	190,132,000	-	190,132,000	109,429,400	3.8	△80,702,600	57.6	140,185,300	△30,755,900	△21.9	
公共下水道事業負担金	102,706,000	-	102,706,000	78,694,900	2.7	△24,011,100	76.6	53,416,500	25,278,400	47.3	
特定環境保全公共下水道事業負担金	19,802,000	-	19,802,000	14,575,500	0.5	△5,226,500	73.6	19,112,400	△4,536,900	△23.7	
農業集落排水事業負担金	67,256,000	-	67,256,000	16,107,800	0.6	△51,148,200	23.9	65,915,200	△49,807,400	△75.6	
漁業集落排水事業負担金	368,000	-	368,000	51,200	0.0	△316,800	13.9	1,741,200	△1,690,000	△97.1	
固定資産売却代金	4,000	-	4,000	-	-	△4,000	-	-	-	-	
合 計	4,760,734,000	1,162,822,590	5,923,556,590	2,875,667,600	100.0	△3,047,888,990	48.5	2,577,398,250	298,269,350	11.6	

(税込み)

(資本の支出)

(単位:円)

区 分	令和5年度								令和4年度	対前年度	
	予算額			決算額		翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行 率(%) (B)/(A)	決算額 (D)	増減額 (E) (B)-(D)	比率 (%) (E)/(D)
	当年度	繰越額	計 (A)	(B)	構成 比(%)						
建設改良費	4,462,046,000	1,270,740,331	5,732,786,331	2,726,175,342	55.6	2,027,122,255	979,488,734	47.6	2,297,394,382	428,780,960	18.7
公共下水道事業 拡張費	2,895,000,000	784,574,700	3,679,574,700	1,642,247,550	33.6	1,384,712,290	652,614,860	44.6	1,061,396,000	580,851,550	54.7
特定環境保全公共 下水道事業拡張費	746,000,000	105,848,800	851,848,800	381,823,500	7.8	437,930,600	32,094,700	44.8	412,899,900	△31,076,400	△7.5
農業集落排水事業 拡張費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
漁業集落排水事業 拡張費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公共下水道事業 改良費	130,931,200	244,342,000	375,273,200	296,175,000	6.0	49,832,000	29,266,200	78.9	433,542,239	△137,367,239	△31.7
特定環境保全公共 下水道事業改良費	133,678,800	1,298,000	134,976,800	35,317,300	0.7	95,665,900	3,993,600	26.2	19,438,361	15,878,939	81.7
農業集落排水事業 改良費	203,471,000	43,228,000	246,699,000	136,474,200	2.8	21,163,300	89,061,500	55.3	89,309,650	47,164,550	52.8
公共下水道事業受 益者負担金徴収費	18,471,960	-	18,471,960	12,320,281	0.2	-	6,151,679	66.7	10,946,928	1,373,353	12.5
特定環境保全公共 下水道事業受益者 分担金徴収費	11,085,040	-	11,085,040	9,901,657	0.2	-	1,183,383	89.3	8,368,147	1,533,510	18.3
農業集落排水事業 受益者分担金徴収 費	706,000	-	706,000	617,271	0.0	-	88,729	87.4	216,401	400,870	185.2
漁業集落排水事業 受益者分担金徴収 費	285,000	-	285,000	259,015	0.0	-	25,985	90.9	278,343	△19,328	△6.9
公共下水道事業有 形固定資産購入費	2,758,520	-	2,758,520	2,338,269	0.0	-	420,251	84.8	3,250,245	△911,976	△28.1
特定環境保全公共 下水道事業有形固 定資産購入費	50,000	-	50,000	33,451	0.0	-	16,549	66.9	311,890	△278,439	△89.3
農業集落排水事業 有形固定資産購入 費	254,000	-	254,000	201,015	0.0	-	52,985	79.1	800,325	△599,310	△74.9
漁業集落排水事業 有形固定資産購入 費	160,000	-	160,000	148,539	0.0	-	11,461	92.8	37,988	110,551	291.0
公共下水道事業無 形固定資産購入費	184,177,480	91,448,831	275,626,311	101,908,649	2.1	37,818,165	135,899,497	37.0	147,702,503	△45,793,854	△31.0
特定環境保全公共 下水道事業無形固 定資産購入費	727,000	-	727,000	4,747	0.0	-	722,253	0.7	846,000	△841,253	△99.4
農業集落排水事業 無形固定資産購入 費	994,000	-	994,000	6,232	0.0	-	987,768	0.6	1,143,000	△1,136,768	△99.5
漁業集落排水事業 無形固定資産購入 費	68,000	-	68,000	540	0.0	-	67,460	0.8	99,000	△98,460	△99.5
公共下水道事業建 設改良管理費	79,895,978	-	79,895,978	64,167,539	1.3	-	15,728,439	80.3	62,647,415	1,520,124	2.4
特定環境保全公共 下水道事業建設改 良管理費	28,975,000	-	28,975,000	23,304,132	0.5	-	5,670,868	80.4	21,120,927	2,183,205	10.3
農業集落排水事業 建設改良管理費	24,357,022	-	24,357,022	18,926,455	0.4	-	5,430,567	77.7	23,030,120	△4,103,665	△17.8
漁業集落排水事業 建設改良管理費	-	-	-	-	-	-	-	-	9,000	△9,000	皆減
企業償還金	2,164,313,000	-	2,164,313,000	2,164,311,825	44.4	-	1,175	100.0	2,169,430,096	△5,118,271	△0.2
公共下水道事業企 業償還金	1,235,340,000	-	1,235,340,000	1,235,339,882	25.3	-	118	100.0	1,254,760,896	△19,421,014	△1.5
特定環境保全公共 下水道事業企業償 還金	326,111,000	-	326,111,000	326,110,765	6.7	-	235	100.0	311,317,778	14,792,987	4.8
農業集落排水事業 企業償還金	580,356,000	-	580,356,000	580,355,712	11.9	-	288	100.0	583,702,657	△3,346,945	△0.6
漁業集落排水事業 企業償還金	22,506,000	-	22,506,000	22,505,466	0.5	-	534	100.0	19,648,765	2,856,701	14.5
投資	1,768,000	-	1,768,000	202,557	0.0	-	1,565,443	11.5	201,923	634	0.3
基金費	1,768,000	-	1,768,000	202,557	0.0	-	1,565,443	11.5	201,923	634	0.3
合 計	6,628,127,000	1,270,740,331	7,898,867,331	4,890,689,724	100.0	2,027,122,255	981,055,352	61.9	4,467,026,401	423,663,323	9.5

(税込み)

収入合計は 2,875,667,600 円で、予算額 5,923,556,590 円に対して 3,047,888,990 円少なく、収入率は 48.5%である。

支出合計は 4,890,689,724 円、翌年度繰越額は 2,027,122,255 円で、予算額 7,898,867,331 円に対し 981,055,352 円の不用額を生じ、執行率は 61.9%である。

不用額の主なものは、公共下水道事業拡張費 652,614,860 円、公共下水道事業無形固定資産購入費 135,899,497 円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 2,015,022,124 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 144,150,467 円、減債積立金 784,839,569 円、及び当年度分損益勘定留保資金 1,086,032,088 円で補てんされている。

(3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第 17 条に規定する予算に係る事項の執行状況は、次のとおりである。

① 債務負担行為

債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、予算に定めるとおり執行されている。

② 企業債

起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、予算に定めるとおり執行されている。

③ 一時借入金

当年度の一時借入金限度額は、500,000,000 円であったが、執行はなかった。

④ 予定支出の各項の経費の金額の流用

営業費用と営業外費用との間及び建設改良費と投資との間において、流用はなかった。

⑤ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費

職員給与費 257,324,000 円であり、流用はなく、予算の範囲内で執行されている。

⑥ 他会計からの補助金

一般会計からの補助金は 1,575,759,000 円（収益的収入 1,319,952,000 円、資本的収入 255,807,000 円）である。

⑦ たな卸資産購入限度額

当年度のたな卸資産購入額は、4,939,000 円であり、予算に定められた購入限度額 10,000,000 円の範囲内で執行されている。

3 経営成績について

当年度の経営成績を前年度と対比すると、次の損益計算書のとおりである。

営業収益は 2,662,269,920 円で、前年度に比べ 127,780,785 円増加し、営業費用は 3,876,959,273 円で、前年度に比べ 19,292,753 円増加している。この結果、営業損失は 1,214,689,353 円で、前年度に比べ 108,488,032 円減少している。

営業外収益は 2,490,612,147 円で、前年度に比べ 39,339,588 円減少し、営業外費用は 436,132,716 円で、前年度に比べ 30,953,385 円減少している。これにより、経常利益は 839,790,078 円、当年度純利益は 838,811,112 円である。

(損益計算書)

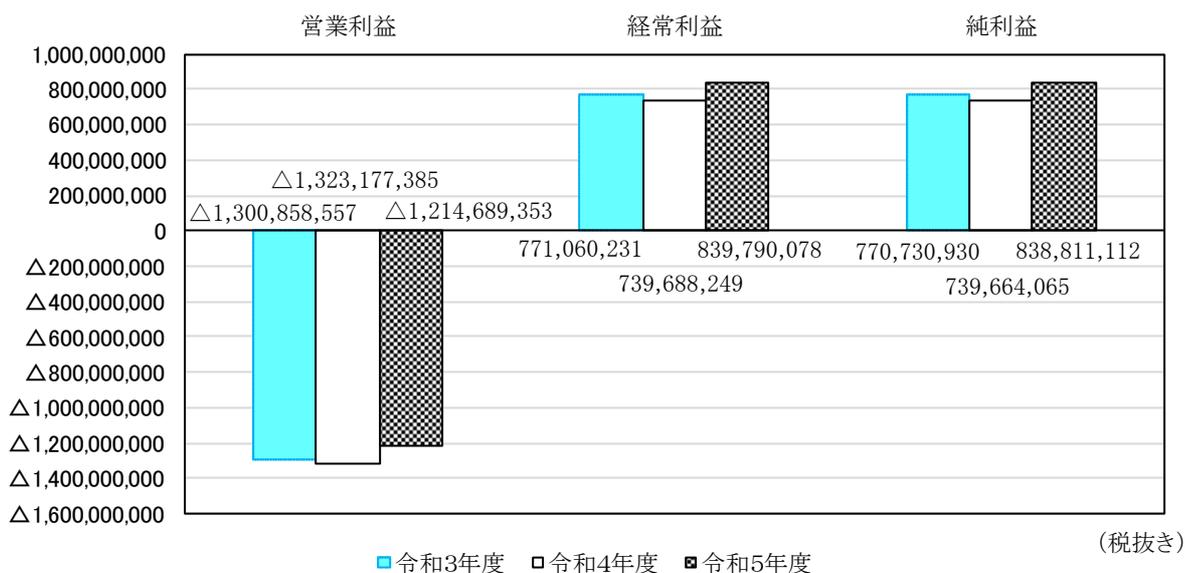
(単位:円)

科 目	令和5年度			令和4年度			比較増減
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)			
営業収益		2,662,269,920	100.0		2,534,489,135	100.0	127,780,785
事業収益	2,616,850,340		98.3	2,464,277,355		97.2	152,572,985
他会計補助金	45,259,000		1.7	70,122,000		2.8	△24,863,000
その他営業収益	160,580		0.0	89,780		0.0	70,800
営業費用		3,876,959,273	100.0		3,857,666,520	100.0	19,292,753
管渠費	123,634,394		3.2	122,929,493		3.2	704,901
ポンプ場費	30,081,228		0.8	29,032,323		0.8	1,048,905
処理場費	1,235,141,865		31.9	1,175,692,592		30.5	59,449,273
総係費	134,453,223		3.5	144,136,716		3.7	△9,683,493
減価償却費	2,341,734,745		60.3	2,345,622,548		60.8	△3,887,803
資産減耗費	11,913,818		0.3	40,252,848		1.0	△28,339,030
営業損失		1,214,689,353			1,323,177,385		△108,488,032
営業外収益		2,490,612,147	100.0		2,529,951,735	100.0	△39,339,588
受取利息及び配当金	212,958		0.0	212,749		0.0	209
他会計補助金	1,274,693,000		51.2	1,300,272,000		51.4	△25,579,000
長期前受金戻入	1,203,582,507		48.3	1,220,720,976		48.3	△17,138,469
雑収益	12,123,682		0.5	8,746,010		0.3	3,377,672
営業外費用		436,132,716	100.0		467,086,101	100.0	△30,953,385
支払利息及び企業債取扱諸費	431,635,775		99.0	462,693,599		99.1	△31,057,824
雑支出	4,496,941		1.0	4,392,502		0.9	104,439
経常利益		839,790,078			739,688,249		100,101,829
特別利益		305,448	100.0		83,438	100.0	222,010
過年度損益修正益	305,448		100.0	83,438		100.0	222,010
その他特別利益	-		-	-		-	-
特別損失		1,284,414	100.0		107,622	100.0	1,176,792
過年度損益修正損	1,284,414		100.0	107,622		100.0	1,176,792
当年度純利益		838,811,112			739,664,065		99,147,047
前年度繰越利益剰余金		-			-		-
当年度未処分利益剰余金		838,811,112			739,664,065		99,147,047

(税抜き)

(経営成績年度比較)

(単位:円)



なお、経営成績及び主要な利益指標の推移を見ると、次表のとおりである。

(経営成績及び主要な利益指標年度比較)

(単位:円)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
下水道事業収益	5,023,048,873	5,064,524,308	5,153,187,515
うち営業収益	2,443,085,705	2,534,489,135	2,662,269,920
下水道事業費	4,252,317,943	4,324,860,243	4,314,376,403
うち営業費用	3,743,944,262	3,857,666,520	3,876,959,273
当年度純利益	770,730,930	739,664,065	838,811,112
前年度繰越利益剰余金	-	-	-
当年度未処分利益剰余金	770,730,930	739,664,065	838,811,112
総収支比率 (%)	118.1	117.1	119.4
営業収支比率 (%)	65.3	65.7	68.7
総資本利益率 (%)	1.0	1.0	1.1

(税抜き)

(注) 総資本利益率 = (経常利益 / ((期首負債資本 + 期末負債資本) × 1/2)) × 100

総資本利益率は、投下資本に対してどれだけの純利益を上げたかという資本効率を示すものである。率が高いほど総合的な収益性が高いと言える。

(1) 営業収益及び営業費用

営業収益は 2,662,269,920 円で、前年度に比べ 127,780,785 円 (5.0%) 増加している。主な理由は、事業収益の増加である。営業収益の構成を見ると、98.3%が事業収益で、1.7%が他会計補助金である。

営業費用は 3,876,959,273 円で、前年度に比べ 19,292,753 円 (0.5%) 増加している。主な理由は、処理場費の増加である。営業費用の構成を見ると、減価償却費が 60.3%、処理場費が 31.9%となっている。なお、営業費用の構成は次表のとおりである。

(営業費用構成年度比較)

(単位:円)

区 分	令和5年度		令和4年度		比較増減
		構成比(%)		構成比(%)	
管 渠 費	123,634,394	3.2	122,929,493	3.2	704,901
ポ ンプ 場 費	30,081,228	0.8	29,032,323	0.8	1,048,905
処 理 場 費	1,235,141,865	31.9	1,175,692,592	30.5	59,449,273
総 係 費	134,453,223	3.5	144,136,716	3.7	△9,683,493
減 価 償 却 費	2,341,734,745	60.3	2,345,622,548	60.8	△3,887,803
資 産 減 耗 費	11,913,818	0.3	40,252,848	1.0	△28,339,030
合 計	3,876,959,273	100.0	3,857,666,520	100.0	19,292,753

(税抜き)

次に、営業費用を性質別に見ると、次表のとおりである。

(営業費用性質別年度比較)

(単位:円)

区 分	令和5年度		令和4年度		比較増減
		構成比(%)		構成比(%)	
給 与 費 等	88,595,995	2.3	100,046,809	2.6	△11,450,814
委 託 料	441,900,512	11.4	436,883,747	11.3	5,016,765
修 繕 費 等	112,633,271	2.9	90,174,833	2.3	22,458,438
動 力 費 等	190,957,155	4.9	218,704,815	5.7	△27,747,660
負 担 金	649,106,024	16.8	582,415,671	15.1	66,690,353
減 価 償 却 費 等	2,353,648,563	60.7	2,385,875,396	61.9	△32,226,833
そ の 他	40,117,753	1.0	43,565,249	1.1	△3,447,496
合 計	3,876,959,273	100.0	3,857,666,520	100.0	19,292,753

(税抜き)

(注) 1.給与費等には、給料のほか手当、賞与引当金繰入額、法定福利費及び退職給付費を含む。

2.動力費等には、動力費のほか光熱水費及び通信運搬費、薬品費を含む。

3.減価償却費等には、減価償却費のほか、資産減耗費を含む。

(2) 営業外収益及び営業外費用

営業外収益は 2,490,612,147 円で、前年度に比べ 39,339,588 円 (△1.6%) 減少している。主な理由は、他会計補助金の減少である。

営業外費用は 436,132,716 円で、前年度に比べ 30,953,385 円 (△6.6%) 減少している。主な理由は、支払利息及び企業債取扱諸費の減少である。

(3) 特別利益及び特別損失

特別利益は 305,448 円で、前年度に比べ 222,010 円 (266.1%) 増加している。主な理由は、過年度損益修正益の増加である。

特別損失は 1,284,414 円で、前年度に比べ 1,176,792 円 (1093.4%) 増加している。この理由は、過年度損益修正損の増加である。

(4) 原価計算

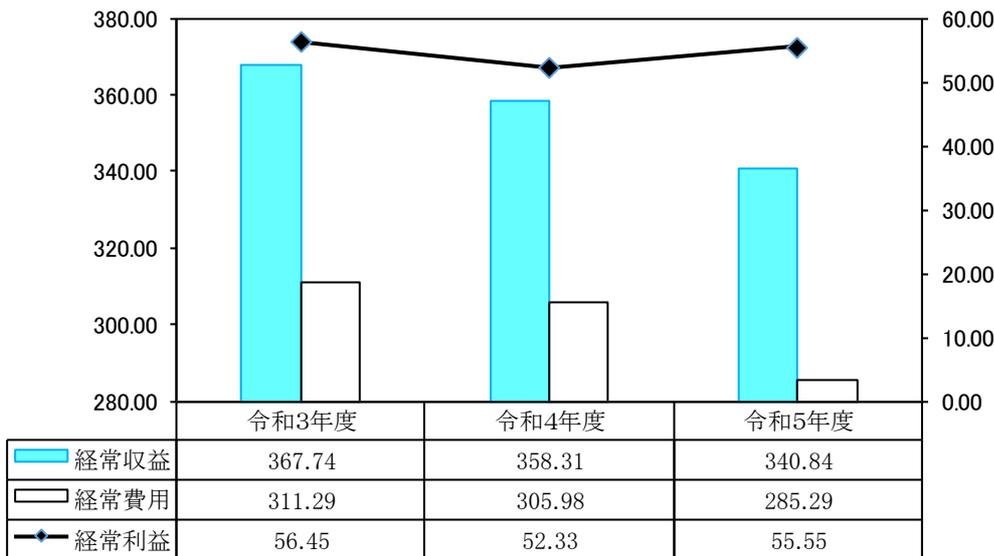
有収水量 1 m³当たりの収益及び費用は、次表のとおりである。

単位当たりの経常収益は、前年度に比べ 17.47 円減少し、経常費用は 20.69 円減少している。この結果、経常利益は 3.22 円増加している。

使用料単価は、前年度に比べ 1.26 円減少し、汚水処理原価は 4.82 円減少している。この結果、使用料単価から汚水処理原価の差引は 3.56 円増加している。

(単位当たり経常利益年度比較)

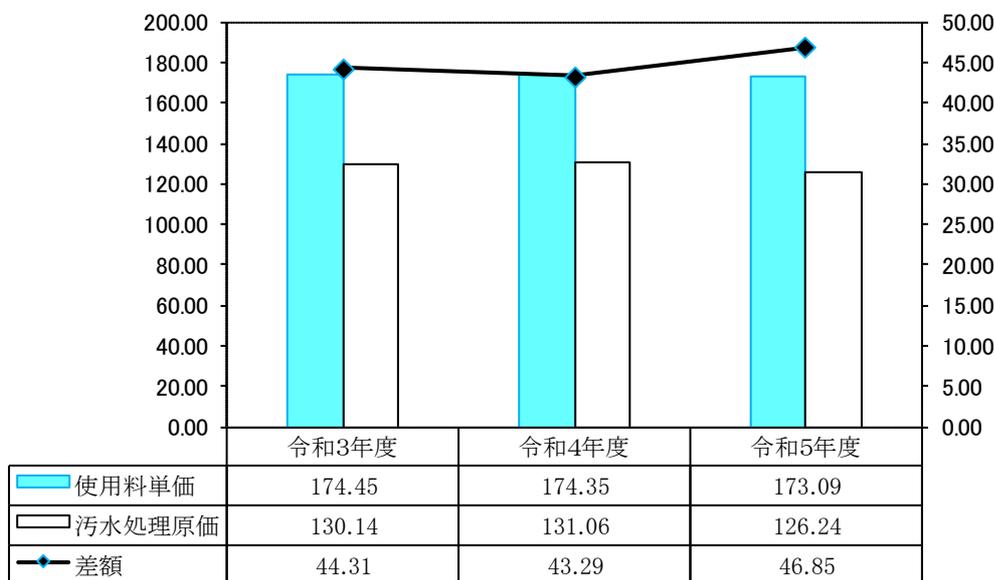
(単位:円/m³)



(税抜き)

(単位当たり使用料単価及び汚水処理原価年度比較)

(単位:円/m³)



(税抜き)

(注) 汚水処理原価(使用料対象原価) = 経常費用 - (不用品売却原価 + 基準内繰入金(収益的収入分)) - 長期前受金戻入(元金償還に係る一般会計補助金収益化額を除く) / 年間総有収水量

(5) 剰余金計算

剰余金の当年度中の増減状況は、次頁のとおりである。

当年度未処分利益剰余金 838,811,112 円は、全額、減債積立金に積み立てる予定としている。

(剰余金計算書)

(単位:円)

	資本金	剰 余 金							資本合計
		資 本 剰 余 金				利 益 剰 余 金			
		受贈財産 評価額	補助金	受益者負 担金及び 分担金	資本 剰余金 合計	減債 積立金	未処分利益 剰余金	利益 剰余金 合計	
前年度末残高	9,889,338,547	34,428,010	568,812,476	922,499	604,162,985	784,839,569	739,664,065	1,524,503,634	12,018,005,166
前年度剰余金の処分額	-	-	-	-	-	739,664,065	△739,664,065	-	-
諫早市上下水道事業の設置等に関する条例第6条第1項による処分額	-	-	-	-	-	739,664,065	△739,664,065	-	-
減債積立金の積立	-	-	-	-	-	739,664,065	△739,664,065	-	-
処分後残高	9,889,338,547	34,428,010	568,812,476	922,499	604,162,985	1,524,503,634	(繰越利益剰余金) -	1,524,503,634	12,018,005,166
当年度変動額	1,013,061,569	-	-	-	-	△784,839,569	838,811,112	53,971,543	1,067,033,112
出資金の受入	228,222,000	-	-	-	-	-	-	-	228,222,000
資本金への組入	784,839,569	-	-	-	-	△784,839,569	-	△784,839,569	-
資本剰余金の受入	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当年度純利益	-	-	-	-	-	-	838,811,112	838,811,112	838,811,112
当年度末残高	10,902,400,116	34,428,010	568,812,476	922,499	604,162,985	739,664,065	(当年度未処分利益剰余金) 838,811,112	1,578,475,177	13,085,038,278

(税抜き)

(6) 各下水道事業別の経営成績

各下水道事業の経営成績は、次表のとおりである。

事業別に当年度の純利益（純損失）を見ると、公共下水道事業は純利益 843,987,550 円、特定環境保全公共下水道事業は純損失 37,744,210 円、農業集落排水事業は純利益 30,250,856 円、漁業集落排水事業は純利益 2,316,916 円である。

(事業別経営成績)

(単位:円)

科 目	公共下水道事業	特定環境保全 公共下水道事業	農 業 集 落 排 水 事 業	漁 業 集 落 排 水 事 業	合 計
営業収益	2,259,376,684	172,560,581	208,286,201	22,046,454	2,662,269,920
事業収益	2,222,392,544	169,061,501	203,476,801	21,919,494	2,616,850,340
他会計補助金	36,857,000	3,497,000	4,781,000	124,000	45,259,000
その他営業収益	127,140	2,080	28,400	2,960	160,580
営業費用	2,473,180,788	634,284,794	715,695,200	53,798,491	3,876,959,273
管渠費	33,350,146	30,663,692	58,616,010	1,004,546	123,634,394
ポンプ場費	30,081,228	-	-	-	30,081,228
処理場費	962,943,710	116,887,483	145,189,000	10,121,672	1,235,141,865
総係費	98,193,448	14,042,068	20,406,346	1,811,361	134,453,223
減価償却費	1,337,655,884	472,574,368	490,685,616	40,818,877	2,341,734,745
資産減耗費	10,956,372	117,183	798,228	42,035	11,913,818
営業利益(損失)	△213,804,104	△461,724,213	△507,408,999	△31,752,037	△1,214,689,353
営業外収益	1,293,444,265	515,329,037	642,110,628	39,728,217	2,490,612,147
受取利息及び配当金	212,958	-	-	-	212,958
他会計補助金	618,045,000	263,834,000	374,983,000	17,831,000	1,274,693,000
長期前受金戻入	663,396,712	251,285,496	267,004,461	21,895,838	1,203,582,507
雑収益	11,789,595	209,541	123,167	1,379	12,123,682
営業外費用	234,980,184	91,223,642	104,271,745	5,657,145	436,132,716
支払利息及び企業債取扱 諸費	231,327,433	90,734,240	103,930,690	5,643,412	431,635,775
雑支出	3,652,751	489,402	341,055	13,733	4,496,941
経常利益(損失)	844,659,977	△37,618,818	30,429,884	2,319,035	839,790,078
特別利益	294,402	1,873	9,173	-	305,448
過年度損益修正益	294,402	1,873	9,173	-	305,448
その他特別利益	-	-	-	-	-
特別損失	966,829	127,265	188,201	2,119	1,284,414
過年度損益修正損	966,829	127,265	188,201	2,119	1,284,414
当年度純利益	843,987,550	△37,744,210	30,250,856	2,316,916	838,811,112
前年度繰越利益剰余金	-	-	-	-	-
当年度未処分利益剰余金(未 処理欠損金)	843,987,550	△37,744,210	30,250,856	2,316,916	838,811,112

(税抜き)

4 財政状態について

当年度末の財政状態を前年度と対比すると、次頁の貸借対照表のとおりである。

資産の部では、固定資産が 73,117,404,518 円で、前年度に比べ 433,367,909 円 (0.6%) 増加している。資産合計は 75,752,785,287 円で、前年度に比べ 906,638,726 円 (1.2%) 増加している。

負債及び資本の部では、負債合計が 62,667,747,009 円で、前年度に比べ 160,394,386 円 (Δ 0.3%) 減少し、資本合計は 13,085,038,278 円で、前年度に比べ 1,067,033,112 円 (8.9%) 増加している。

各区分の財政状態の詳細は次のとおりである。

(1) 資産の部

有形固定資産は 70,016,491,492 円で、前年度に比べ 438,857,060 円増加している。主な理由は建設仮勘定並びに機械及び装置の増加である。

無形固定資産は 2,595,699,303 円で、前年度に比べ 5,691,708 円減少している。主な理由は、ソフトウェアの減少である。

また、流動資産は 2,635,380,769 円で、前年度に比べ 473,270,817 円増加している。主な理由は、現金・預金の増加である。

(2) 負債の部

固定負債は 25,681,417,307 円で、前年度に比べ 695,722,317 円減少している。主な理由は、建設改良費等の財源に充てるための企業債の減少である。

また、流動負債は 3,004,424,350 円で、前年度に比べ 334,373,048 円増加している。主な理由は、未払金の増加である。

(3) 資本の部

資本金は 10,902,400,116 円で、前年度に比べ 1,013,061,569 円増加している。

剰余金は 2,182,638,162 円で、前年度に比べ 53,971,543 円増加している。

企業債の未償還残高は、前年度に比べ 716,611,825 円減少している。

前年度末残高	28,409,584,608 円
当年度発行額	1,447,700,000 円
当年度償還額	2,164,311,825 円
当年度末残高	27,692,972,783 円

(貸借対照表)

(単位:円)

科 目	令和5年度			令和4年度			比較増減
	金 額		構成 比(%)	金 額		構成 比(%)	
(資産の部)							
1 固定資産							
(1)有形固定資産							
イ 土地		1,256,436,916	1.7		1,256,436,916	1.7	-
ロ 建物	3,015,897,521			2,893,776,486			
減価償却累計額	△959,841,349	2,056,056,172	2.7	△894,201,674	1,999,574,812	2.7	56,481,360
ハ 構築物	81,410,579,663			80,531,546,578			
減価償却累計額	△21,036,097,046	60,374,482,617	79.6	△19,254,303,332	61,277,243,246	81.9	△902,760,629
ニ 機械及び装置	11,400,974,468			10,620,262,906			
減価償却累計額	△7,413,648,988	3,987,325,480	5.3	△7,132,001,713	3,488,261,193	4.7	499,064,287
ホ 車両運搬具	7,104,864			6,646,027			
減価償却累計額	△4,505,939	2,598,925	0.0	△4,646,886	1,999,141	0.0	599,784
ヘ 工具器具及び備品	26,930,150			26,929,673			
減価償却累計額	△17,666,579	9,263,571	0.0	△15,747,779	11,181,894	0.0	△1,918,323
ト 建設仮勘定		2,330,327,811	3.1		1,542,937,230	2.1	787,390,581
有形固定資産合計		70,016,491,492	92.4		69,577,634,432	93.1	438,857,060
(2)無形固定資産							
イ 施設利用権		2,576,255,835	3.4		2,571,990,628	3.4	4,265,207
ロ ソフトウェア		19,443,468	0.0		29,400,383	0.0	△9,956,915
無形固定資産合計		2,595,699,303	3.4		2,601,391,011	3.4	△5,691,708
(3)投資その他の資産							
イ 基金		505,213,723	0.7		505,011,166	0.7	202,557
投資その他の資産合計		505,213,723	0.7		505,011,166	0.7	202,557
固定資産合計		73,117,404,518	96.5		72,684,036,609	97.2	433,367,909
2 流動資産							
(1)現金・預金		1,632,969,514	2.2		1,282,003,651	1.7	350,965,863
(2)未収金		1,003,555,255	1.3		887,040,301	1.1	116,514,954
貸倒引当金		△9,000,000	△0.0		△10,300,000	△0.0	1,300,000
(3)貯蔵品		7,856,000	0.0		3,366,000	0.0	4,490,000
(4)前払金		-	-		-	-	-
流動資産合計		2,635,380,769	3.5		2,162,109,952	2.8	473,270,817
資産合計		75,752,785,287	100.0		74,846,146,561	100.0	906,638,726

(税抜き)

(貸借対照表)

(単位:円)

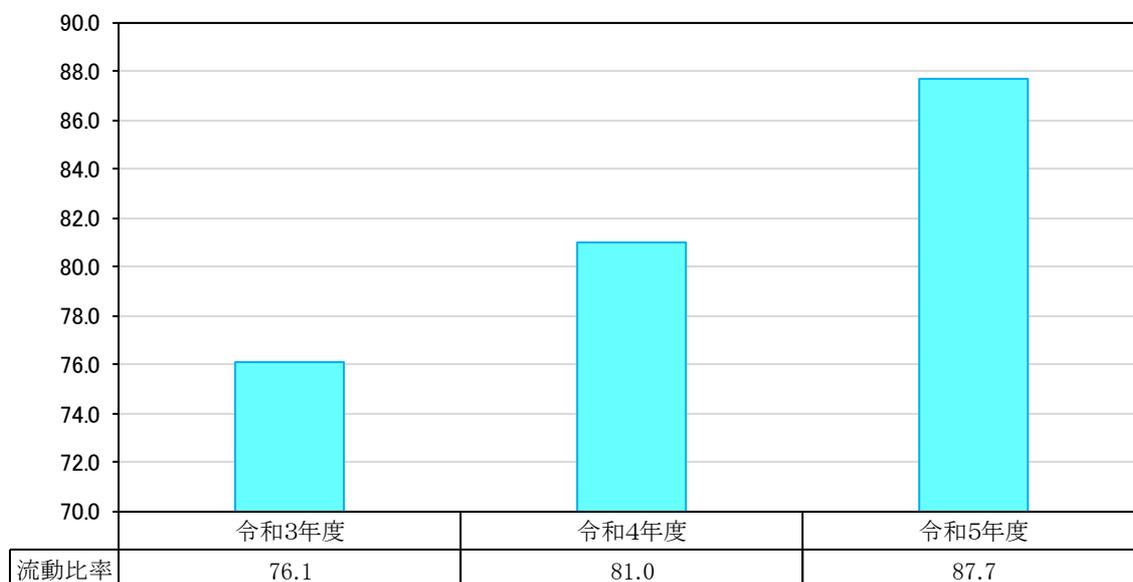
科 目	令和5年度		令和4年度		比較増減
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	
(負債の部)					
3 固定負債					
(1) 企業債					
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,537,344,184	33.7	26,245,272,783	35.1	△707,928,599
(2) 引当金					
イ 退職給付引当金	144,073,123	0.2	131,866,841	0.2	12,206,282
固定負債合計	25,681,417,307	33.9	26,377,139,624	35.3	△695,722,317
4 流動負債					
(1) 企業債					
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,155,628,599	2.8	2,164,311,825	2.9	△8,683,226
(2) 未払金	753,637,898	1.0	441,740,266	0.6	311,897,632
(3) 前受金	4,356	0.0	243,306	0.0	△238,950
(4) 引当金					
イ 賞与引当金	18,472,000	0.0	19,214,000	0.0	△742,000
(5) その他流動負債	76,681,497	0.1	44,541,905	0.1	32,139,592
流動負債合計	3,004,424,350	3.9	2,670,051,302	3.6	334,373,048
5 繰延収益					
(1) 長期前受金	49,768,562,825	65.7	48,431,998,115	64.7	1,336,564,710
収益化累計額	△15,786,657,473	△20.8	△14,651,047,646	△19.6	△1,135,609,827
繰延収益合計	33,981,905,352	44.9	33,780,950,469	45.1	200,954,883
負債合計	62,667,747,009	82.7	62,828,141,395	84.0	△160,394,386
(資本の部)					
6 資本金	10,902,400,116	14.4	9,889,338,547	13.2	1,013,061,569
7 剰余金					
(1) 資本剰余金					
イ 受贈財産評価額	34,428,010	0.0	34,428,010	0.0	-
ロ 補助金	568,812,476	0.8	568,812,476	0.8	-
ハ 受益者負担金及び分担金	922,499	0.0	922,499	0.0	-
資本剰余金合計	604,162,985	0.8	604,162,985	0.8	-
(2) 利益剰余金					
イ 減債積立金	739,664,065	1.0	784,839,569	1.0	△45,175,504
ロ 当年度未処分利益剰余金	838,811,112	1.1	739,664,065	1.0	99,147,047
利益剰余金合計	1,578,475,177	2.1	1,524,503,634	2.0	53,971,543
剰余金合計	2,182,638,162	2.9	2,128,666,619	2.8	53,971,543
資本合計	13,085,038,278	17.3	12,018,005,166	16.0	1,067,033,112
負債資本合計	75,752,785,287	100.0	74,846,146,561	100.0	906,638,726

(税抜き)

ここで、主な財政比率の推移は次のとおりである。

(流動比率)

(単位:%)

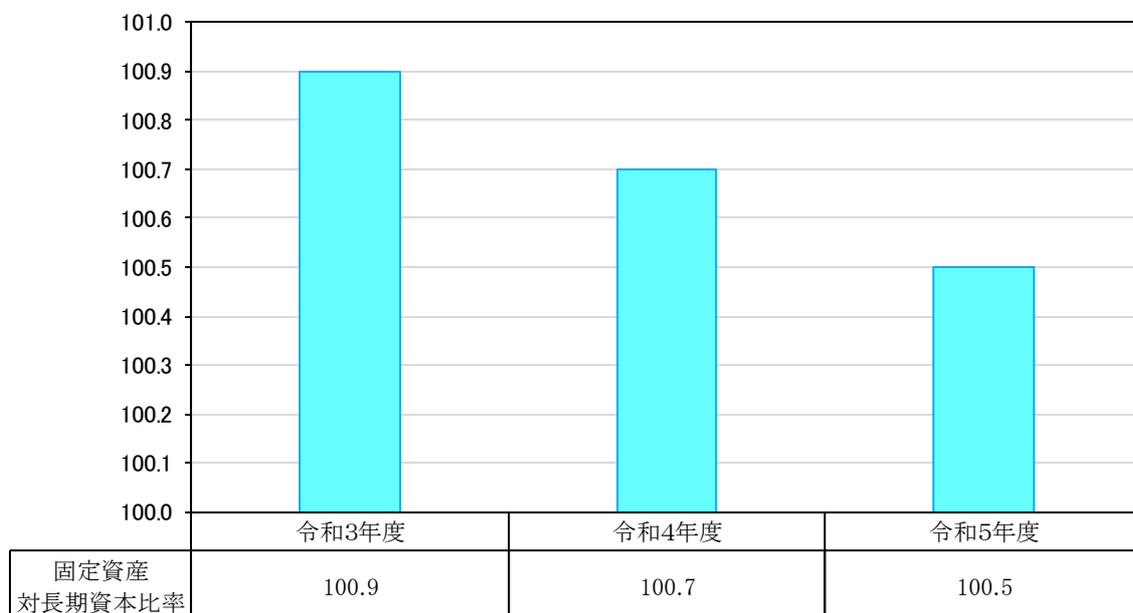


※流動比率＝(流動資産／流動負債)×100

流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表している。流動比率は、100%以上であることが望ましい。

(固定資産対長期資本比率)

(単位:%)



※固定資産対長期資本比率＝(固定資産／(資本金＋剰余金＋固定負債＋繰延収益))×100

固定資産対長期資本比率は、固定資産がどの程度長期資本(自己資本(資本金＋剰余金＋繰延収益)及び長期借入金(固定負債))によって調達されているかを示すものである。この比率は100%以下で、かつ低いことが望ましい。

5 資金収支の状況について

業務活動によるキャッシュ・フローは、通常の業務活動の実施に係る資金の状態を表し、投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動に係る資金の状態を表し、財務活動によるキャッシュ・フローは、業務活動及び投資活動を行うための財務活動に係る資金の状態を表している。

キャッシュ・フロー計算書の推移は次表のとおりである。

(キャッシュ・フロー計算書)

(単位:円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	838,811,112	739,664,065	99,147,047
減価償却費	2,341,734,745	2,345,622,548	△3,887,803
固定資産除却費	11,913,818	39,549,848	△27,636,030
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,300,000	△5,000,000	3,700,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,206,282	12,520,615	△314,333
賞与引当金の増減額(△は減少)	△652,000	1,392,000	△2,044,000
長期前受金戻入額	△1,203,582,507	△1,220,720,976	17,138,469
受取利息及び受取配当金	△212,958	△212,749	△209
支払利息	431,635,775	462,693,599	△31,057,824
未収金の増減額(△は増加)	△142,229,546	△28,363,609	△113,865,937
未払金の増減額(△は減少)	37,837,976	△46,832,946	84,670,922
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,487,250	△2,880,590	△1,606,660
前払金の増減額(△は増加)	-	-	-
前受金の増減額(△は減少)	△238,950	220,950	△459,900
預り金の増減額(△は減少)	32,139,592	20,386,617	11,752,975
小 計	2,353,576,089	2,318,039,372	35,536,717
利息及び配当金の受取額	212,958	212,749	209
利息の支払額	△431,635,775	△462,693,599	31,057,824
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,922,153,272	1,855,558,522	66,594,750
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△2,124,190,846	△1,956,907,416	△167,283,430
無形固定資産の取得による支出	△92,609,699	△128,707,731	36,098,032
基金積立てによる支出	△202,557	△201,923	△634
国庫補助金等による収入	852,223,518	876,783,014	△24,559,496
一般会計からの補助金による収入	247,618,000	250,013,000	△2,395,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,117,161,584	△959,021,056	△158,140,528
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,447,700,000	1,109,000,000	338,700,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△2,164,311,825	△2,169,430,096	5,118,271
他会計からの出資による収入	262,586,000	255,481,000	7,105,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△454,025,825	△804,949,096	350,923,271
資金増加額(又は減少額)	350,965,863	91,588,370	259,377,493
資金期首残高	1,282,003,651	1,190,415,281	91,588,370
資金期末残高	1,632,969,514	1,282,003,651	350,965,863

(税抜き)

業務活動によるキャッシュ・フローは、1,922,153,272 円で、前年度に比べ 66,594,750 円増加している。主な理由は当年度純利益の増加によるものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△1,117,161,584 円で、前年度に比べ 158,140,528 円減少している。主な理由は、有形固定資産の取得による支出の増加によるものである。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△454,025,825 円で、前年度に比べ 350,923,271 円増加している。主な理由は、建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入の増加によるものである。

以上の3区分から当年度の資金は、350,965,863 円の増加となり、資金期末残高は 1,632,969,514 円となる。

キャッシュ・フローを見ると、業務活動で十分なキャッシュを生み出し、投資と借入金の返済もできており一般的にいう優良企業型である。

6 セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

諫早市下水道事業会計は、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び漁業集落排水事業を運営しており、各事業で地理的条件や地域性の違いから収益状況等が異なることから、それらを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は、次表のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	市街地における、し尿、生活排水等の処理
特定環境保全公共下水道事業	市街地以外における、し尿、生活排水等の処理
農業集落排水事業	農業集落における、し尿、生活排水等の処理
漁業集落排水事業	漁業集落における、し尿、生活排水等の処理

(2) 報告セグメントごとの経常損益

当年度の報告セグメントのうち、経常損益は、次表のとおりである。

(単位:円)

	公共下水道事業	特定環境保全 公共下水道事業	農業集落 排水事業	漁業集落 排水事業	合計
令和5年度	844,659,977	△37,618,818	30,429,884	2,319,035	839,790,078
令和4年度	767,373,868	△45,906,213	17,966,719	253,875	739,688,249
比較増減	77,286,109	8,287,395	12,463,165	2,065,160	100,101,829

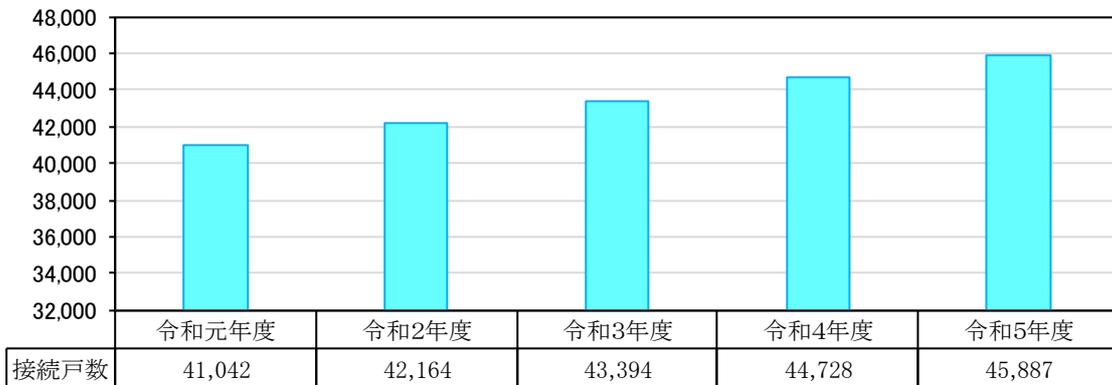
(税抜き)

7 むすび

諫早市下水道事業における、接続戸数、接続率及び年間有収水量の推移は、次のとおりである。

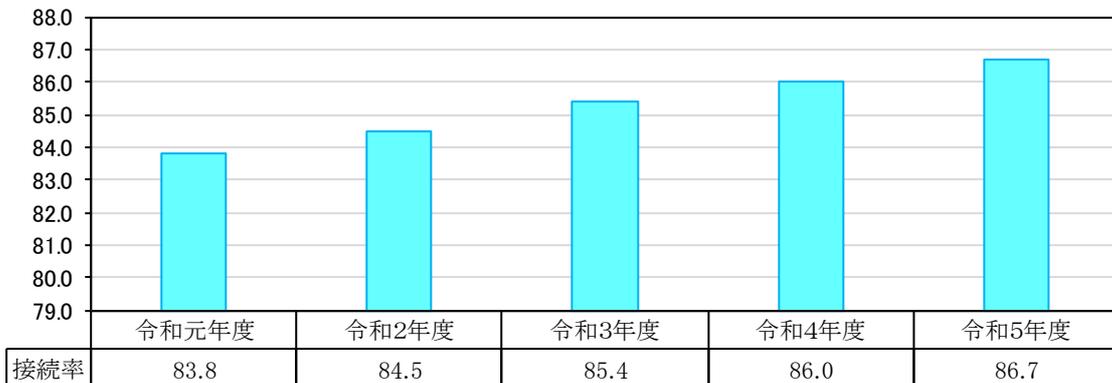
(接続戸数)

(単位:戸)



(接続率)

(単位:%)

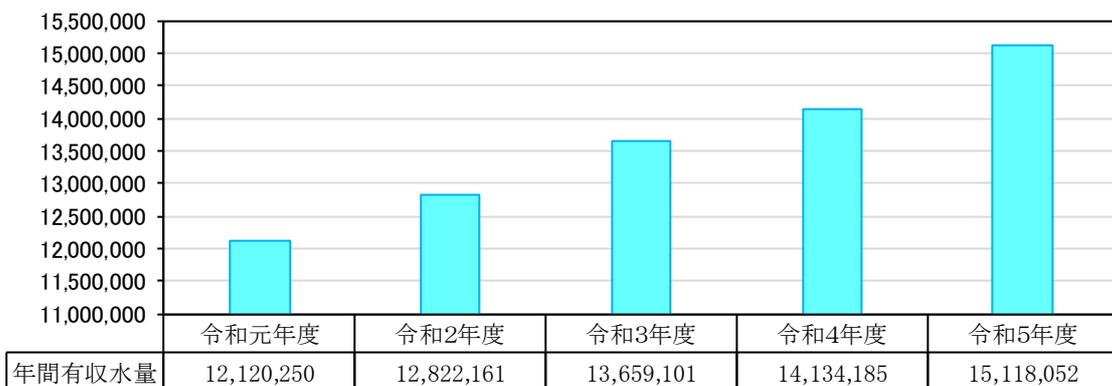


当年度の接続戸数は、前年度に比べ 1,159 戸増加し、接続率は 0.7 ポイント上昇している。

人口減少や節水機器の普及などにより、1 戸当たりの使用水量が大幅に増えることは難しいので、引き続き供用開始区域内の更なる接続を推進し、下水道使用料の増収を図っていく必要がある。

(年間有収水量)

(単位:m³)



接続戸数と接続率の増加に伴い、当年度の年間有収水量は前年度に比べ 983,867 m³増加している。

下水道事業の業務実績の年度別推移では、供用開始区域内における下水道への接続戸数及び接続率は年々上昇傾向にある。本年度においては、大口使用者の使用量増加もあり、有収水量も増加している。しかし、人口減少などにより使用料収入の大幅な増加は見込めず、また、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大や企業債償還（令和5年度末企業債残高 27,692,972,783 円）が続くなど、下水道事業経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況である。

令和6年能登半島地震においては、耐震化未実施であった基幹施設等で甚大な被害が生じたことで、広範囲に下水管内の滞水が発生するなど復旧の長期化を生じさせた。

また近年、激甚化・頻発化する自然災害においてもライフラインに大きな被害が生じ市民生活や社会経済活動に大きな影響を及ぼしている。このような状況を踏まえ、持続的な下水道事業経営のため自然災害に強く、持続可能な下水道施設の耐震化・耐水化を計画的かつ着実に推進されたい。

なお、「諫早市下水道経営戦略プラン」における令和5年度時点の財政計画や各指標の計画値は、おおむね達成していると判断できる（企業債残高について、目標である284億円以下を達成）。これまでも普及率や接続率の向上に努めてきているが、引き続き未接続者に対する戸別訪問などにより、更なる接続促進を図られたい。また、地方公営企業の独立採算制の原則に鑑み、使用料収入を確保することにより、今後も一般会計からの基準外繰入金や企業債残高の縮減に努められたい。

また、管路や処理場等の施設の老朽化に伴う更新等については、「ストックマネジメント計画」に基づき行われているが、引き続き長期的展望に立った計画的かつ効率的な整備を実施することにより、施設の長寿命化と管理の最適化に努められたい。

各下水道事業（報告セグメント）の経営成績を見てみると、公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業の経常損益は黒字であるが、特定環境保全公共下水道事業では赤字となっている。生活環境の改善と三つの海や河川などの公共用水域の水質保全を図るため、各事業の推進は必要であるが、今後、農業集落排水事業の公共下水道等への統廃合による経営の効率化の推進、また、事務の民間委託による経費縮減の取組を検討するなど、着実に経営計画に基づき経営基盤の改善・強化を図り、事業の効率的かつ効果的な推進に努められたい。